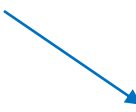



















春野菜の生育状況と4月の価格見通しについて（4月1日現在）  
 （東京都中央卸売市場等に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況 等
根 菜 類	生育は順調。
葉 茎 菜 類	生育は順調。
果 菜 類	生育は順調。
土 物 類	生育は順調。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年4月の入 荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			4 月 前 半	4 月 後 半
だ い こ ん	千 葉 (81%) 神 奈 川 (8%)	神奈川県において、気温の急激な変化により品質が低下していることに加え、出荷が終盤となる中で一定程度残量があり、前半は、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> 後半は、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		
に ん じ ん	徳 島 (67%) 千 葉 (8%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		

はくさい	茨城(84%) 兵庫(7%)	茨城県において、 <u>出荷数量は平年並</u> であるものの、飛砂が外葉に巻き込んだことによる品質低下に加え、加工需要の低迷が続いていること等から、 <u>価格は平年を下回る見込み</u> 。		
キャベツ	愛知(47%) 神奈川(38%)	適度な気温と降雨により肥大が進み、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る見込み</u> 。		
ほうれんそう	群馬(35%) 茨城(22%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。		
ねぎ	千葉(44%) 埼玉(22%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量は平年並</u> になるものの、気温の上昇に伴い需要が減少していることから、 <u>価格は平年を下回る見込み</u> 。		
レタス	茨城(60%) 兵庫(18%)	茨城県において、収量は平年並であるが、飛砂が外葉に巻き込んだことによる品質低下がある中で、海外からの輸入が続いており、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る見込み</u> 。 ただし、今後、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並になる可能性。		
きゅうり	埼玉(28%) 群馬(22%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。		
なす	高知(53%) 福岡(21%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。		

トマト	栃木(26%) 熊本(21%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。	→	→
ピーマン	茨城(47%) 宮崎(16%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。	→	→
ばれいしょ	北海道(56%) 鹿児島(40%)	一部の県において作付面積が増加していることに加え、全国的にも収量は平年並であることから、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>	↘	↘
さといも	埼玉(42%) 千葉(23%)	収量は平年並であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。	→	→
たまねぎ	北海道(49%) 佐賀(32%)	主産県における収量は平年並であることから、 <u>前半は、出荷数量、価格ともに平年並</u> になる見込み。 <u>後半は、後続産地である佐賀県において、作付面積が増加していることに加え、収量は平年並であることから、出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> ただし、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並になる可能性。	→	↘